

# 吹田民主商工会 いんぷおめ〜しょん

吹田市川園町20-1  
TEL (06) 6383-2211  
FAX (06) 6382-8190  
http://www.suita-minshu.com  
suita-ms@jamine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の  
昼2時・夜7時  
なんでも相談会

## 選挙に行つて政治を変えよう！

7月4日公示21日投票で参議院選挙が行われます。私たち中小業者の要求を求める選挙にしていきたいと思います。

### 消費税増税とインボイス制度

政府は消費税増税を強行する方針です。消費税増税に対してはどのマスコミの世論調査でも反対が半数以上です。政府の景気動向指数でも6年ぶりに悪化の判断を示しており、景気が後退局面に入っていると指摘されている中で増税を強行すれば、日本経済に大打撃となることは確実です。中小業者にとっては増税の負担だけでなく、インボイス制度の問題もあります。複数税率導入の4年後から「適格請求書等保存方式」が始まります。課税事業者は請求書や領収書など記載要件を満たした「適格請求書（領収書）」の発行が必要になります。原始資料の保存に加えて税率別の記帳が必要となり大きな事務負担になります。またこの「適格請求書」は売上1千万円以下の免税事業者に発行資格がなく、事業者間取引を継続するのであれば、自ら課税事業者になることを選択しなければなりません。これによって財務省は161万者が自ら課税事業者になり、2480億円の財源になると試算していることを国会答弁で明らかにしています。インボイス制度の導入は阻止するため、10月の消費税増税を中止させるしかありません。

### 減らされた年金 マクロ経済スライドは現役世代にも

この間、年金も大きな問題となっています。金融庁審議会の報告書で厚生年金だけでは老後資金不足するとして、退職までに2千万円の資産形成を促す内容に不安と怒りが広がっています。マクロ経済スライドの廃止を求める国会での質疑に政府が「7兆円の財源が必要」と回答し、その後開示された資料で2040年に基礎年金の年間支給総額が25兆円から18兆円に、個人の支給が6万5千円から4万5千円に削減されることが明らかにしました。このマクロ経済スライドの正体は減る年金の仕組みではありません。年金を受給している高齢者にとっても、減らされた年金を受け取る現役世代にとっても、百害あって一利なしのこの制度は廃止を求めていきたいと思います。

### 国庫負担増額で高すぎる国保料の引下げを

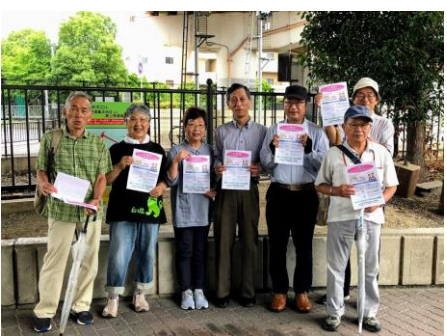
国民健康保険料も中小業者にとって大きな負担となっています。すでに協会けんぽの保険料と比較すると2倍を超えるようになっていきます。加入世帯の構造が制度創設時から変化して年金生活者や非正規労働者が主体となり加入世帯の平均所得が大幅に下がり、高齢化によって医療費も大きくなっていくためです。しかし最も大きな要因は1984年の国保法改悪による国庫負担金の引下げが行われたことです。全国知事会は2014年に国庫負担を1兆円増額することを求めましたが、半分にも満たない3400億円にとどまりました。しかもこの財源は協会けんぽへの補助金を国保に振り替えただけで根本的な解決ではありません。

さらに昨年から始まった国保都道府県化では市町村が独自の判断と財源で保険料を引下げることがないよう強力な指導が行われています。高すぎる保険料の引下げを求める選挙にもしていきたいと思います。

民商は税制では応能負担の原則を求めるとともに、所得再配分機能を担う社会保障・福祉・教育に優先的に予算を使うことを求めてきました。参議院選挙の期日前投票は公示の翌日5日から始まります。今度の選挙で私たちの要求が実現する政治にするため必ず投票にいきたいと思います。

## 「国保料下げて」署名で訴えよう

6月27日 阪急吹田駅改札前で「国民保険料さげて！」の訴えと署名活動を吹田市社会保障推進協議会国保部会の活動として民商、新婦人、生健会の10名で行いました。モデルケース（40代4人家族給与年収400万円）で保険料が国保で52万円、協会けんぽで24万と比較し、保険料があまりにも高いことを市役所やメイシアターに向かう方に訴え、署名をお願いしました。ちょうど保険料の相談に行く男性からは「こんなに高い保険料に驚いている」と話されていました。



## 伝言板

無料法律相談

7月18日（木）13時00分 民商會館  
相談を希望される方は、事前に予約をしてください。

### STOP!官製ワーキングプア

「総合評価」による事業者選定の可能性

民間委託請負契約・指定管理者制度のまじりの

労働環境の改善に向けて

7月17日（水）19時00分 さんくすホール・第1会議室  
講師 森田 定和さん（特定社会保険労務士）

地方自治体が公共事業、公共調達、民間委託を通じて過度な競争、経費削減等を推し進めた結果、公共サービスの質の低下、官製ワーキングプアが広がっています。吹田市も福祉分野をはじめ、公共施設や事業の民間委託を進めています。民間委託の契約制度に切り込み、総合評価方式の可能性を考えます。官製ワーキングプア、契約におけるダンピング問題などに関心のある方、ぜひご参加ください。

参加費 無料

主催 雇用と地域経済を考える市民懇話会・準備会

／吹田市労働組合連合会

お買い物は地元市場商店街で・商工業者の繁栄は市民とともいっ！